

広報わこう

ワコウデイズ

# WakoDays

2026年 **4**月号 **別冊**

特別特集号

どこへでも行ける今、**ここ**を大切に  
—「ローカル」のチカラ—

**特集**

**地域コミュニティ  
を考える**

県立和光高校は令和7年度をもって  
県立和光国際高校と統合。  
最後の3年生、最後の文化祭。  
そこから見えてきた  
地域とのつながりと、地元愛。  
関わる人たちの思いは全て、同じだった。  
支え合って存在し合うことの意味が  
そこにあった。

どこへでも行ける今、**ここ**を大切に

—「ローカル」のチカラ—

## 私たちにとってのふるさと意識

みんなをつなぐ ワクワク ふるさと 和光 —

都心部に直結した立地にありながら、自然も豊か。都市の便利さと和やかな空間が共存している和光市。「ふるさと」として、市民の皆さんに住み続けたいと思ってもらえることを、市は目標としています。そしてその達成には、地域に愛着やシビックプライド<sup>\*</sup>を持ってもらい、自らまちと関わり続けてもらうことが重要です。

改めて立ち返る機会を与えてくれたのが、住民参加型の文化祭を成功させた県立和光高校の取り組みです。生徒の「やってみたい」と地域の「応援したい」が重なり、大きな力が生まれました。生徒は地域の温かみを知り、地域は若者の活力を身近に感じ、学校は開かれた交流の場に。そこには、単なる学校行事にとどまらない、地域コミュニティが育んだ物語がありました。それぞれの思いと行動がひとつになり、大成功を収めた最後の文化祭。生徒たちの行動を例に、今一度互いを思いやり地域活動に参画する「ふるさと意識」について考えてみませんか。

<sup>\*</sup>住んでいるまちのことをよくしようと思うこと



## 変化する地域活動への参加意識

「集」から「個」へ移り変わる現状

### 流入人口増加の一方で減少する“つながり”

和光市の人口は、平成元(1989)年度末の約5.5万人から、ここ37年間で約3万人増加しています。令和6年に総務省が公表した人口動態調査では、埼玉県内でトップの伸び率(対前年)です。ベッドタウンとして利便性が高いことから、若い世代が多く活気があるまちといえます。また、市民意識調査の結果(グラフ1)からは、地域への関心が高く「和光市を気に入っている」住民が多いことが読み取れます。

一方で、住民同士そして地域とのつながりを示す数値から、世代間で大きな差があることが分かります。例えば、25～29歳のご近所付き合いは極端に少なく(グラフ2)、同世代で市民活動に参加したことのある人は約1割にとどまります(グラフ3)。特に若い世代の間では“つながり”が減少している状況です。

引用:令和6年度和光市市民意識調査

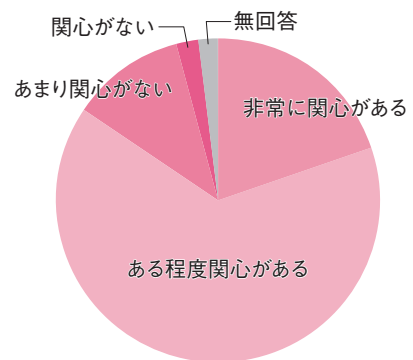
### 「興味がある」から「関わりたい」に変化する鍵とは

住みやすいけれど、地域とのつながりが希薄な状況。それは、ライフスタイルの多様化や核家族化などが影響していると考えられます。しかし、“つながり”が減少する影には、防災機能の低下や防犯リスクの増大、孤立化などのリスクが潜んでいます。

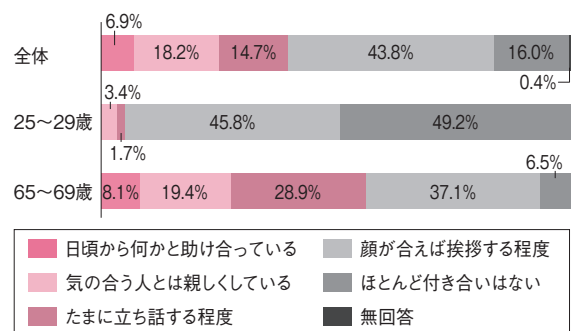
このまちを「気に入っているし、興味はある」から、まちへの愛着が生まれ、「関わりたい」と行動変容につながる鍵は一体何なのでしょう。

和光高校の生徒たちの取り組みから見てきたこと。それは、生徒と地域住民がつながり行動していくにつれ、まちへの関心が愛着になっていく変化でした。また、地域住民も生徒とのローカルな関わり合いの過程で、まちへの「ふるさと意識」がさらに強まっていたのです。

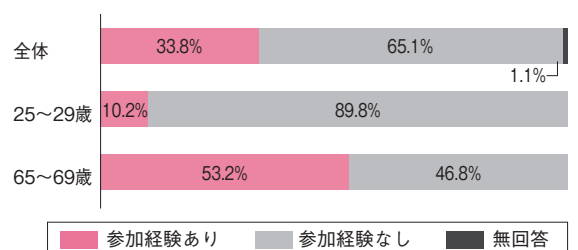
■【グラフ1】和光市の出来事への関心度



■【グラフ2】ご近所付き合いについてのアンケート



■【グラフ3】市民活動への参加経験





## 愛され支えられた学舎

「伝統」は永く地元に根付き親しまれるからこそ

### 半世紀以上の歴史を刻んだ和光高校

昭和47(1972)年に開校した県立和光高校。今年3月末をもって県立和光国際高校との統合のため一度その門は閉ざされます。

和光市の発展とともに歩んだ54年。同校は「知性と教養を高め、心身ともに健康で人間性豊かな若人の育成を目指す」という教育目標のもとに、1万2,000人を超える卒業生を社会に輩出してきました。しかしながら、52期生の113人が最後の卒業生となりました。

### 生徒の笑顔のために地域が動き出す

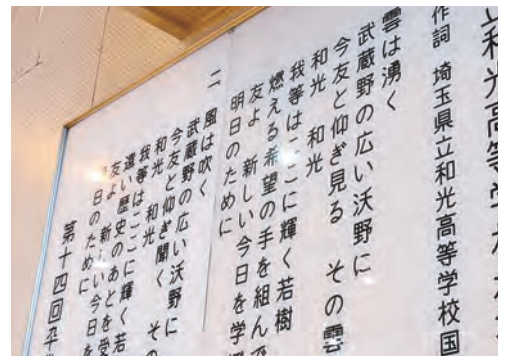
昨年3月、在校生が3年生のみとなるタイミングを前に、学生食堂の事業者が撤退することになり、昼食の確保が困難な状況になりました。残りの1年間、生徒が昼食の購入に困らないよう、校長先生が学校の状況を多方面に説明し、協力してくれる人がいないか奔走しました。

熱意を受け取った商工会の橋渡しにより、市内の「おべんとや」が弁当販売に協力してくれることに。事業者の佐藤さん、元学生食堂従業員の鶴岡さん、生徒会のメンバーが何度も意見を交わしました。価格・量・メニューなどを話し合うことで、生徒が満足できる内容となり、5月からの正式販売に漕ぎ着けました。

その後はさらに、社会福祉協議会によるパンの販売も決まり、昼食の選択肢が広がりました。食堂の元従業員も、弁当販売を通じて生徒との交流を継続できるようになり、食堂には生徒たちの笑い声が響き、学校全体に一層の活気が溢れました。

### 地域との一体感で変化する生徒の心

昼食提供の復活は、地域の人々の「こどもたちの笑顔をなんとか守りたい」という思いの表れでした。生徒たちのニーズに耳を傾け、その実現を真剣に考えて、素早く行動する。そうした思いが生徒に伝わりはじめ、地域の人と生徒の交流はより一層活発になりました。地域と学校は「ワンチーム」。その士気は11月8日の文化祭「和高祭」に向けて強まったのです。



## 地域の優しさが詰まった弁当で最後まで笑顔届けたい



元 和光高校学生食堂 調理員  
鶴岡 香菜莉さん

私自身が和光高校の卒業生で、3年生の時には生徒会長でした。子育てがひと段落した9年ほど前、タイミング良く希望していた学生食堂の調理員に就くことができました。娘も和光高校に入学したので、令和7年度はPTA会長を務めさせてもらっています。

残念ながら、学食は生徒が3年生だけになると同時に閉まってしまいました。しかし「おべんや」が生徒のために弁当販売を始めてくれることになり、生徒とのメニューづくりにも寄り添っていています。昼食を買えなくなった状況に、地元で

「なんとかしてあげたい」と行動を起こしてくれる人がいることは嬉しいですね。私もお弁当の販売員として、生徒と関わり続けています。

この学校の生徒たちは現役も卒業生も本当に優しく、和高祭でも卒業生が一緒になって盛り上げてくれていました。統合でこの校舎から生徒たちがなくなることは、悲しくなるから考えたくないですが、「おいしい!」と言ってもらえるお弁当で、最後まで笑顔届けられたらと思っています。



## 和高祭で感じた生徒たちの成長と私たち大人の地域愛



和光市商工会 青年部  
光實 圭一さん

青年部の60周年記念事業として、和光のこどもたちが喜ぶ事業、思い出に残る事業、そして成長した時に和光に戻るきっかけになるような事業を検討する中で、和高祭とのコラボレーションの案が持ち上がりました。

生徒会との打ち合わせは、生徒のアイデアに我々大人が実現性を検討する形で始まりましたが、回を重ねるごとに、生徒自身がより具体的に考え、自主的に動き、その姿にとても成長を感じました。スタンプラリーでは、生徒が「青年部はここに立っててください」と人員配置を含めて指示

を出し、完全に段取りをしてくれる状況でした。

今回のように、市のために何ができるかを熟考することは、私たち大人(商工会青年部)にとってもやりがいと地域愛が生まれる機会でもありました。

何かに集中して一生懸命になる経験は、自身を成長させる機会だと思います。今回60周年担当委員長を任された私自身がそうでした。就職でも進学でも、和高祭を思い出して取り組んでみてほしいですね。



## 生徒の“やってみたい”と大人の“応えたい”が生み出した力



和光高校 教員  
金澤 祥子さん

和高祭を通して、改めて生徒たちの発想力に驚き感動しました。例えば、青年部との打ち合わせでは、大人なら実現を諦めて発言を遠慮してしまうアイデアも、生徒の言葉にするとキラキラして感じられ、大人に「まずやってみよう」と言わせてしまいました。生徒たちには、次のステージでも自分自身の可能性を信じ続けてほしいですね。

もちろん学校行事は、教員や生徒だけでは行えません。今回は特に、生徒たちの夢・商工会の協力・地域の理解という、さまざまな思いが合わさり実現できたのだと実感しています。

生徒にとって、地域は大きな存在で、50年以上も見守り育んでもらっていたから、安心して学校生活を送ることができました。本当に感謝しています。反対に、通学や行事など生徒との関わりが、地域に活力を生むこともあったのではないのでしょうか。今回、立場の垣根を越えて積極的に関わり合うことで、変化が生まれました。一人でも多くの人が、これからも学校そして地域に関わってくれることを願っています。





## みんなが主役の学校

関わる人みんなに支えられた1年間とその集大成「和高祭」

生徒と教師、地域と学校、子どもと大人。立場を越えてみんなで笑いあった1日。  
だれかにつながり、支えあって、そこから見た景色には「ふるさと」を感じたことでしょう。





和光高校 生物部部長  
小倉 華音さん

## 文化祭での経験をきっかけに 深めたい地域との関わり

文化祭は、前回よりも大盛況で正直とても驚きました。商工会の皆さんのさまざまなサポートが、本当にありがたかったです。

地域の皆さんにお越しいただいたことで、少し緊張もしましたが、部員や大人の皆さんに支えてもらいながら、部長という立場を考えて動くことを意識できたかなと思っています。

これまで、和光市に住んでいても、地域の方々と関わる機会を持てていなかったけれど、今回の文化祭では商工会の皆さんとの関わりも多かったという経験から、もっと積極的に関わっていきたいと思いました。今後は社会人として自立して、地域のためにも行動を起こせる大人になりたいです。



和光高校 生物部副部長  
吉川 響喜さん

## 多くの人から注がれた思いを 次は自分から地域へ

最後の和高祭とはいえ、1学年しかないの  
で、今回は来場者が少ないと思っていました。  
でも予想を裏切り、商工会やPTAの皆さんの  
力もあり、とても多くの人々が来場してくださり、  
本当に嬉しかったです。当日までの会場準備  
は大変でしたが、苦労した甲斐がありました。

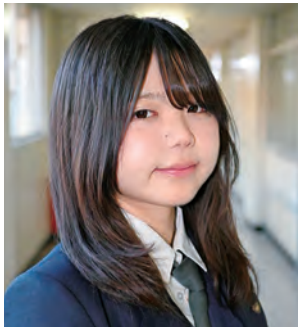
これまで、文化祭だけでなく体育祭などで

も、地域の皆さんのお世話になってきました。  
そして、学校周辺の環境整備や安全配慮など  
も、私たち生徒のために力を注いでくれてい  
たと思うと、とてもありがたいことです。

今度は私自身も地域の力になれるよう、関  
わりの経験を積んで、多くの人に役立つ知識  
を身に付けていきたいです。

# 地域と一緒にならば「やればできる」

皆さんは和光市が好きですか。世代や立場を超えたつながりがありますか。  
和光市を「ふるさと」だと感じる瞬間がありますか。  
まちの景色が時代によって変わるように、人々の生活様式も変わります。  
しかし、いろいろなことが変わったとしても、変わらない大切なことがあります。  
それは、ある人からすれば「垣根を越えた人との関わり」、  
またある人からすれば「地域のために何ができるかを考えること」なのかもしれません。  
生徒たちが示してくれたように、このまちにはローカルの力を発揮できる基盤がすでにあります。  
これからの和光市のために、関心から関与へ一歩進めてみませんか。  
広報紙を開いてみることに、近くの掲示板の前で立ち止まってみることに、  
近所の人に挨拶をしてみることに、地域のイベントに参加してみることに…  
ほんの小さな一歩でも、見える景色は少しずつ変わります。  
「ふるさと」は誰かが作るものではなく、あなたの行動が「ふるさと」を形づくるのです。



和光高校 生徒会会長  
山崎 真由さん

## 立場を超えた地域との関わりで 得ることができたスキル

和高祭を振り返ると、多くの方が協力してくださったからこそ、大規模な文化祭を成功させることができたのだと思います。見えないところでいろいろと活動していただいた大人の皆さんに、心から感謝しています。本校が地域の皆さんに愛されてきたからこそ、親身に手伝ってくださっていると知ることができました。

この学校に出会えた運命を、すごくありがたく感じています。そして、生徒会のまとめ役を担う中で、メンバーや先生だけでなく地域の皆さんも仲間として真剣に向き合ってくれたから、私自身も成長できました。授かったコミュニケーション力を、今後の学業や地域での生活に生かしていきたいと考えています。



和光高校 生徒会副会長  
藤田 美咲さん

## 大人たちからの応援で実感した 地域の和光愛

生徒会のみんなはもちろん、先生や校長・教頭、商工会やテレビ局の方々など、たくさんの方が関わってくれたからこそ、思い出に残る文化祭になりました。商工会の方が事前設営してくれたり、PTAの方が校内を装飾してくれたり、多くの警備の方が安全を確保してくれたり。自分たちが気付かない部分で

も大人が応援してくれていて、この地域とそこにある和光高校への愛を感じました。

学校行事などの裏方作業に苦勞する経験もしましたが、努力があったからこそ地域からの応援のありがたさが分かりました。社会に出たら自分に負けずに行動できる人になり、周りの人を笑顔にしたいと思っています。

# その一歩が「ふるさと」を形づくる

## 軌跡を奇跡につなぐ行動

誰もが潜在的にもつ、「集」のチカラへの信頼と安心感

校舎に笑い声や板書の音が響かなくなるのは寂しいけれど、学校と生徒と住民が関わり合っていたという足跡は刻まれています。地域の「つながり」という温かな火を絶やさないためにも、地域を応援する一歩となる、小さなことから始めてみませんか。



どこへでも行ける今、ここを大切に —「ローカル」のチカラ—

# 注目情報

SPECIAL ARTICLES

## マイナンバーカードで便利なコンビニ交付

戸籍住民課 住民担当 ☎424-9112

### 全国どこでも各種証明書のコンビニ交付が利用できます!

利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードまたはスマホ用電子証明書をお持ちであれば、全国のコンビニ交付対応マルチコピー機（キオスク端末）が設置されたコンビニエンスストアでサービスを利用できます。



**【利用できる人】**市に住民登録があり、利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードをお持ちの人

**【利用できる時間】** 6:30～23:00

● 年末年始(12月29日～1月3日)はメンテナンスのためサービスを停止します。

**【利用できる店舗】** 全国のコンビニエンスストア

● スマホ用電子証明書を利用する場合は一部店舗で対応。

**【交付できる証明書】** 1通 300円

- 住民票の写し
- 印鑑登録証明書
- 課税証明書
- 納税証明書

● 詳細は市HPで▶



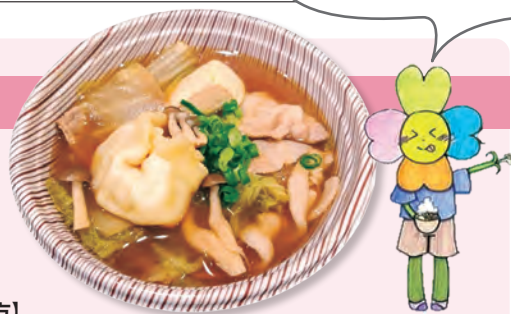
## 和光のレシピ

秘書広報課 シティプロモーション担当 ☎424-9091

小学生が、市内事業者や商工会青年部と連携し、考案から販売まで実現した取り組みです!

### ウマ辛! 広沢っ子鍋

優しい出汁に餃子と野菜の甘み、コチュジャンのコクが合わさった心温まる特製鍋!



**【材料(2人前)】**

① 古丹餃子……………	4個
豚バラスライス……………	40g
白菜……………	120g
大根……………	60g
しめじ……………	24g
油揚げ……………	1/2枚
万能ねぎ……………	20g
② 出汁(水1Lに削り節30g) ……	300cc
ニンニク……………	4g
醤油……………	20cc
みりん……………	10cc
コチュジャン……………	4g
砂糖……………	2.5g

**【作り方】**

<b>① 出汁づくり</b>	・沸騰した湯に削り節を入れ、中火で7分 ・ポウルに重ねたざるにあげ、出汁をこし取る ・出汁を鍋に戻す
<b>② 野菜を洗って切る</b>	白菜: 芯は2cm幅、葉はざく切り 大根: 火が通りやすいように薄いいちょう切り (または短冊切り) 油揚げ: 短冊切り 豚バラスライス: 食べやすい大きさに切る
<b>③ ゆでる</b>	鍋に戻した出汁を沸騰させたら、大根→白菜→豚バラ、しめじ、油揚げ→餃子の順に入れる
<b>④ 味付け</b>	コチュジャン、みりん、醤油、ニンニクを入れる
<b>⑤ 盛り付け</b>	どんぶりなどに盛り付け、仕上げに万能ねぎを散らして完成!

広沢小6年生が、家庭科の授業で考案したレシピです。5年生で学んだ出汁の知識を活かし、栄養バランスや和光らしさを意識して作りました! 調理実習を行い、味・見た目・素材などの視点から選ばれた班のレシピ! 今年の「わこうのほっこり鍋」でも販売されました。



その他のレシピはこちらから▶



① = 和光ブランド認定商品、認定事業者の素材を使用しています。

# Information

インフォメーション

和光産農産物販売 和光市駅南口駅前広場  
 わこ産 わこ消 **軽トラ市** 第2・4水曜日16:00~18:00頃  
 ●天候や野菜の出荷状況により中止となる場合があります

## お知らせ

### リチウムイオン電池などの捨て方

リチウムイオン電池／電池が外せない小型家電は、他のごみ(燃やすごみなど)と混ぜないでください。

他のごみに引火し、火災が発生する危険があります。それぞれ別の透明な袋に入れて「有害ごみ」として出してください(家電は電池有りと記載してください)。

●リチウムイオン電池は、必ずビニールテープなどで絶縁してから捨てる。

●詳細は市HPで▶

環境課 資源リサイクル担当 ☎424-9153



捨てる  
ルールを守って



### コバトンALKOOマイレージで健康習慣

日常の「歩く」時間を少し増やすだけで、体力づくりや気分転換、ストレス解消に効果的です。

#### 【アプリの特徴】

- ①歩数を自動で記録! 歩数に応じて「マイレージポイント」が貯まる。
- ②マイレージポイントは四半期に1度の素敵な景品が当たる抽選の応募に使える!
- ③さんぽルートや日陰マップなど楽しく歩ける機能もたくさん!

●アプリの詳細は市HPで▶

対満18歳以上

健康増進センター

健康づくり担当

☎424-9128



### わこうっち誕生15周年記念 カプセルトイ発売中!

「わこうっち」誕生15周年を記念して、わこうっちとさつきちゃんのキーホルダー(カプセルトイ第2弾)が登場しました!

今回は、ペットボトルや傘に付けられる“マーカー(リングタイプ)”がシークレットとして入っています。

1回100円玉5枚で回せます。

市役所1階、イトーヨーカドー和光店

秘書広報課 シティプロモーション担当

☎424-9091



### 市の歴史をもっと身近に「れきたま」

写真とやさしい解説で楽しめる和光市デジタルミュージアム「和光市歴史の玉手箱」、通称「れきたま」を知っていますか? 市の指定文化財や遺跡、伝説、昔話などを、PCやスマホからお気軽に閲覧でき、和光市史も無料で読めます。

知ることで、見慣れたまちが少し違ってみえてきます。ぜひご覧ください。

●「れきたま」▶

生涯学習課 文化財保護担当

☎424-9119



### 市からの情報発信

Instagram 市公式アカウント  
(city\_wako\_official)



LINE 市公式アカウント



X 市公式アカウント  
(@Wako\_City)



TikTok 和光市チャンネル  
(wakocity.channel)



秘書広報課 シティプロモーション担当

☎424-9091

### 自治会に加入しよう!

自治会は、地域の皆さんが協力して安心して生活するための大切な組織です。防災活動や防犯パトロールを兼ねた清掃活動などをおして、住みよいまちづくりを進めています。

また、和光市自治会連合会加盟の自治会員は「自治会優待カード」が利用できる、市内協賛店で優待を受けることができます。

●詳細はHPで▶

和光市自治会連合会 ☎463-0104



### 「もうけ話」にご注意!!

埼玉県からのお知らせです。  
**こんな悪質商法にご注意!!**

SNSを通じた**投資・副業**などの「**もうけ話**」にご注意!!

この人、テレビにも出ている著名人だ!  
 友達登録してみるか

高収入! 必ず得える!

一緒に稼ぎましょう! やり方を教えるので安心して!

このグループに入って儲かりました!

こちらの投資用アプリをインストールしてください

みんなすごいな私も始めよう

アプリをインストールしました...とメッセージを送ろう

証拠金50万円を入金してください。入金先は口座名義:サイタマダウ...

振り込み後—  
 振り込んだ途端に連絡がつかなくなった!  
 振り込んだお金は...!?

こうした投資トラブル以外にも、SNSなどで「簡単な作業だけで稼げる」とうたい、お金を振り込ませるが実際には報酬を得られない「副業トラブル」も増えています!

和光市消費生活センター ☎424-9116  
 (月~金曜日9:30~12:00、13:00~16:00)  
 または消費者ホットライン ☎188



グリーンサラダファクトリー和光店  
**Green salad factory**

和光市で、今をトキメク、  
トキメキを提供する仲間たち



体の中から健康に  
心の底から笑顔に

オーナーの竹本さんとスタッフの皆さん



①彩りと食感がバラエティに富むサラダ ②アサイーボウル ③スピルリナのスムージー

**[Green salad factory]**

下新倉4-15-74 ☎070-1307-1605  
【営業時間】平日11:00~14:00  
土日祝日11:00~15:00  
●詳細はHPまたはInstagramから



@GREEN\_SALAD\_FACTORY\_WAKO

私たちの和光市で今をトキメク商店や事業所。今回は、サラダとアサイーボウルの専門店「Green salad factory (グリーンサラダファクトリー)」さんの紹介です。竹本由美子さんがオーナーとなり、昨年の11月にオープン。色鮮やかで心も体も整うメニューが、早くも話題です。

「加須市の本店に次ぐ、2店舗目として開店しました。健康的な食生活をテーマに、体に優しいサラダを主体とする食事を提供しています。私自身、持病を抱える中で体質改善になればと、体の毒素を抜く『ファスティング』と併せて、栄養バランスの良い食事を心がけると体調に良い変化がみられました。食べるものが体を作ることを実感したからこそ、健康的な食事を周りにも提供したい。そんな思いが、この店を始める挑戦へとつながりました」

人気メニューは、食べ応え十分なサラダや栄養満点のアサイーボウル。素材へのこだわりが心身を潤すと、竹本さんは話します。「例えば、砂糖の代わりにアガベシロップ、

白米の代わりに雑穀米や玄米などを使うと、血糖値の上昇を抑えます。また、有機野菜や平飼い卵、手作りベーコンなど、生産者の顔が見える食材を選んでご提供している点も、大きなこだわりです。野菜などは可能な範囲で、近隣の農家さんや八百屋さんから仕入れています」

最後に、今後の目標を伺いました。「肉や卵を使うメニューでは植物性原料の選択肢を増やすなど、少しずつ皆さんのご要望にお応えしていければと考えています。お客さまから「また来ますね」「長く続けてください」などの言葉とともに笑顔をいただけると、とてもやりがいを感じます。Instagramやポスティングなどで認知を広げ、これからも地域の笑顔を増やせていけたらと思います」

**Green salad factory からのお知らせ!**  
5月末まで、プチプレゼントをお渡しします! 店頭またはLINE・HP・電話でご注文の際に「広報わこうを見た」とお伝えください。

☎秘書広報課 シティプロモーション担当 ☎424-9091

**「アンケート」協力のお願い**

Wako days note -編集室より-



**A4サイズの「広報わこう」はいかがでしたか? 皆様のご意見をお聞かせください!**

回答者の中から抽選で5人に、「P10 和光のレシピ」に掲載の和光ブランド認定商品、株式会社 古丹の「満腹餃子」をプレゼント! 当選者には後日商品を発送します。

回答はこちら▶  
(5月20日(水)まで)



**「マチイロ」アプリで、いつでも手軽に  
広報を読むことができます。**

二次元コードからアプリをダウンロードしてご利用ください



**困った時はすぐ相談**

**消費生活センター**  
**☎424-9116**

**UD FONT**

見やすいユニバーサル  
デザインフォントを  
採用しています。



和光市の人口と世帯 (3月1日現在)

●人口 85,218人 [男 43,722人 女 41,496人] ●世帯数 44,905世帯 ●前月より298人増